

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ：次回発信日は12月8日月報(予定)

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《～牛乳類の販売個数は前週から横ばい～年末年始に向けて需要拡大、理解醸成を～》

・11/21週の牛乳類の家庭内消費は、前週(11/14週)と比較して販売個数は概ね横ばいとなった。製品価格改定後4週目の販売動向は依然として減少幅は限定的であり、牛乳価格は改定前と比較し平均15.6円上昇しているが前年比▲2.2%に留まっている。また、例年気温の低下に伴い季節的に牛乳類の消費は減少傾向となるが、白物乳飲料は価格改定以後も販売個数は横ばいとなっており、11.21週も改定幅の小さい乳飲料へ一定程度シフトしている動きがみられる。なお、地域による動向にも特に大きな差異はみられず、特に大消費地である京浜地区が前年同水準であることが消費の押し下げを抑制している。

・ヨーグルト類については、全品目を通じて前週よりも販売個数は増加した。ドリンクタイプは先々週の水準に持ち直し、前年を大きく上回った。

・現時点では製品価格改定後の消費への影響は限定的であるが、今後価格改定を予定している小売、流通があることや店舗、乳業メーカーによって11月はキャンペーン等販売促進を実施していた要因もあることから、12月以降も引き続き販売動向には注視する必要がある。大幅な需給緩和が想定される年末年始を控えて、家庭内消費の維持・拡大が喫緊の課題であるため、引き続き需要拡大や理解醸成等を積極的に働きかける必要がある。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(11/21週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同97.8%、成分調整牛乳：同95.4%、加工乳：同100.5%、乳飲料：同105.8%。

牛乳類トータルでは同98.8%

※参考：2020年度比は、牛乳：90.6%、成分調整牛乳：86.7%、加工乳：98.7%、乳飲料：93.2%(牛乳類トータル：90.9%)

※参考：2019年度比(コロナ禍前)の牛乳販売個数は95.7%。

・販売単価は、牛乳：205.9円、成分調整牛乳：188.4円、加工乳：200.5円、乳飲料：157.6円。

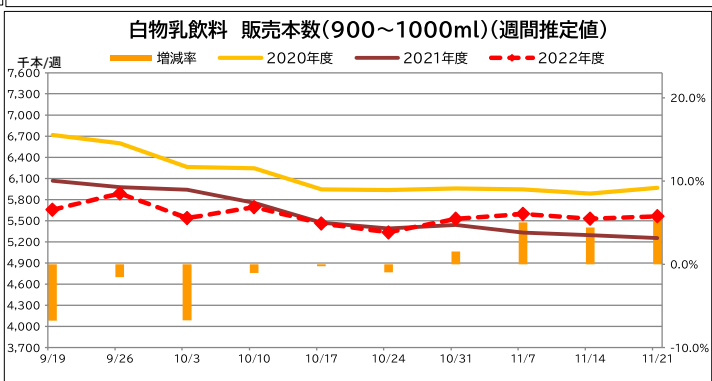
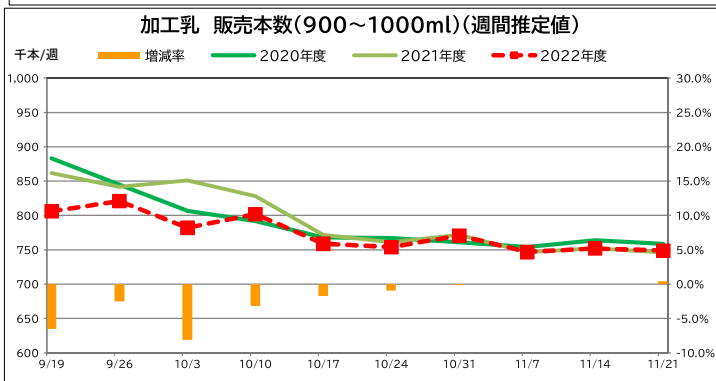
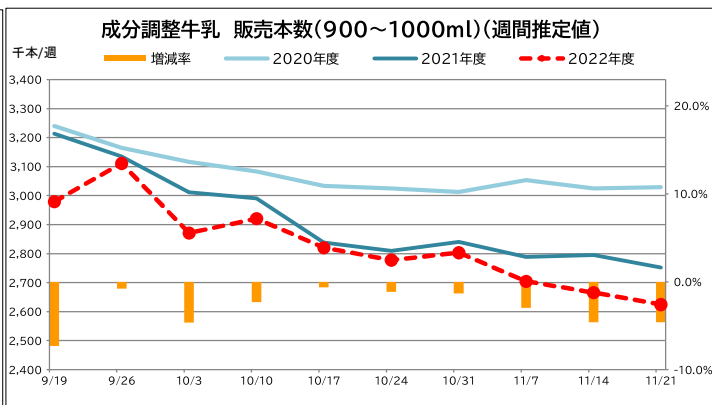
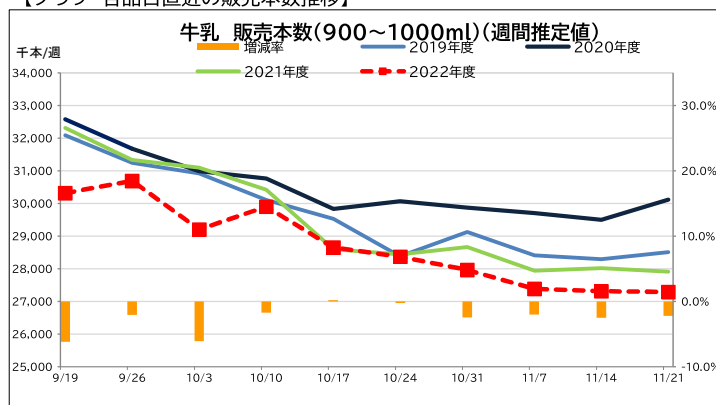
※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	10.3-	10.10-	10.17-	10.24-	10.31-	11.7-	11.14-	11.21-
トータル	販売個数	38,395	39,317	37,690	37,241	37,066	36,438	36,264	36,230
	販売個数前年比	93.9	98.3	100.0	99.6	98.3	99.0	98.4	98.8
	販売単価	183.4	182.9	183.1	183.3	191.0	196.1	196.8	197.1
牛乳	販売個数	29,203	29,901	28,649	28,373	27,965	27,388	27,315	27,292
	販売個数前年比	93.9	98.3	100.2	99.8	97.5	98.0	97.5	97.8
	販売単価	190.6	190.0	190.2	190.3	199.0	205.0	205.5	205.9
成分調整牛乳	販売個数	2,871	2,921	2,820	2,778	2,803	2,705	2,666	2,625
	販売個数前年比	95.3	97.7	99.4	98.9	98.7	97.0	95.4	95.4
	販売単価	174.1	173.3	174.0	173.9	181.6	187.1	188.3	188.4
加工乳	販売個数	782	802	759	754	771	747	752	749
	販売個数前年比	91.9	96.9	98.4	99.1	100.0	100.0	100.0	100.5
	販売単価	189.5	189.8	189.8	190.9	195.7	199.8	199.7	200.5
乳飲料	販売個数	5,539	5,694	5,462	5,336	5,526	5,598	5,531	5,564
	販売個数前年比	93.2	99.0	99.8	99.0	101.6	105.0	104.4	105.8
	販売単価	149.7	149.5	149.3	149.9	154.3	156.6	157.4	157.6

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(11/21週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比105%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)全ての品目において前週(11/14週)よりも販売個数は増加した。ドリンクタイプは7週連続で前年を上回った。

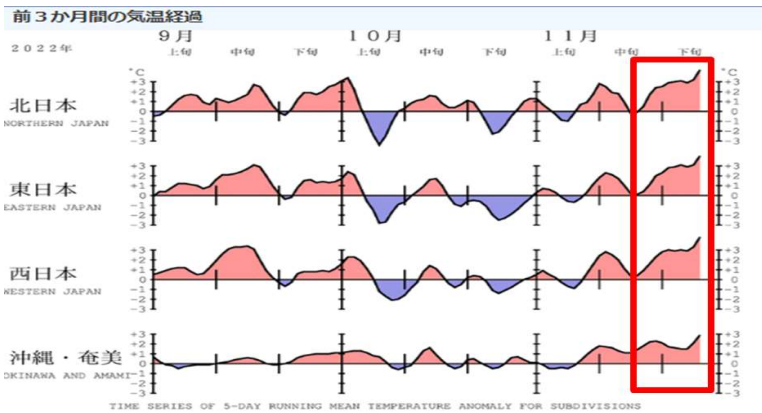
【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	10.3-	10.10-	10.17-	10.24-	10.31-	11.7-	11.14-	11.21-
ドリンクタイプ	↘	→	→	→	→	→	→	↗
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↘	↘	→	↘	↘	↘	↘	↘

- ↘ : 前年比90%未満
 ↗ : 前年比105%以上110%未満
- ↘ : 前年比90%以上100%未満
 ↑ : 前年比110%以上120%未満
- : 前年比100%以上105%未満
 ↑ : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※11/21週の気温経過 出典:気象庁



※「2022年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」